



歴史づくりの「ホージ」

4月4日、快晴の中で、新設早通中学校の開校式が行われました。生徒たちは、新しい校舎を前に、「よりよい伝統を作ろう」と誓い合いました。写真はテープカットをする関係者。



健康で何よりです
雪解けが始まるころ、家庭常備薬をもって訪れる富山の薬屋さん。毎年決めてある市内各地の農家に宿泊しながら、昔からの得意先を回ります(三月十二日、高森新田の佐藤文夫さん宅で)



北帰行を前に体カづくり

天然記念物の白鳥が、あちこちの田んぼでエサをついばむ姿が見られます。長かった冬もようやく終わり、白鳥の北帰行が、大地に春の訪れを告げます。(3月22日、上大月地内で)



大人顔負けの名演奏

3月25日、市音楽文化協会主催のジュニアコンサートが、中央公民館で開かれました。会場に訪れた約100人の聴衆は、子供たちが演奏するピアノ、ギターに盛んな拍手をおくっていました。



(16)

北辰隊

北辰隊は、戊辰戦争の際に下興野新田(葛塚)の庄屋遠藤七郎を隊長として組織された北越草莽隊の一つであった。

北辰隊は、明治元年(一八六八)六月、新発田藩主の米沢藩への参



北辰隊の隊員名簿

陣を阻止しようとする領民蜂起の中で成立したと思われる。七月から八月にかけては、新政府軍の下で長州藩干城隊付属となって、赤谷方面の戦闘に参加し、数名の死傷者を出している。

その後、佐渡戍兵を命ぜられ、長州藩士奥平謙輔に率いられ、佐渡警備のため渡島した。この戍兵中に遠藤ら幹部は、佐渡県官員に任ぜられ、県治にも一部関与している。

明治二年八月には、越後に帰り、葛塚に屯集していたが、明治三年二月に東京警備のため上京を命ぜられ、居之隊、金革隊と合隊して第三遊軍隊に編成された。しかし五月には旧三隊長から兵部省に解隊帰農を願い出て認められ、九月には帰郷している。

明治二年十月の「北辰隊名員録」によれば、隊の構成は次のようになっています。

- 隊長 遠藤七郎
- 軍監 伊藤退蔵
- 星野帰一
- 越三作
- 吉沢千柄

以下

- 司令士 三人
- 半隊司令士 三人
- 嚮導 十三人
- 押伍 三人
- 楽手 九人
- 輜重方 四人
- 病院 三人
- 兵隊 百三十九人
- 合計 百七十九人

この名簿には、出身地および身分、年齢等が一部を除いて記載されており、北辰隊の隊内構成を知り得る貴重なものとなっている。

市史編さん室主事

霧間 公男

市史編さんにご協力を

市では「豊栄市史」を編さんするため、資料調査を実施しています。次のような資料等をお持ちの方あるいは知っておられる方は、市史編さん室(博物館内 六一〇八一)までご連絡ください。

- 土器、石器など
- 古い文書、記録、写真など
- 昔話、伝説など

高森薬師のご開帳

高森の薬師神社では、五月の春祭りに薬師如来のご開帳を行います。この神社は、市内で最も高い所にあり、天然記念物の大げやきがあることで広く知られています。一方、越後の名薬師とも言われる古い歴史をもち、昔からの信徒も近郷で数多くおられます。

薬師如来像を一般の参拝者にお見せするというご開帳は、十二年に一度子年にだけ催されます。今年にはたまたま同神社の再建十周年にも当たるため、記念の大祭りを実施することにしました。

ご開帳は五月七日(夜)と八日(午前)に行われ、九日は境内で昔から伝わるいろいろな舞が奉納されます。

編集室

▽ 本号は年度変わり、新年度予算、人事異動、入学といった内容を編集しました。積もった雪もようやく消え、季節も春本番に変わりました。人の動きもにわかに活発となり、これからは取材もいそがしくなりそうです。